



2013-14 年度 R I のテーマ「ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を」  
R I 会長 ロン D. バートン (Engage Rotary, Change Lives)  
八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 北山 輝夫 ● 会長 小原 隆平 ● 幹事 清川 浩幸 ● 会報委員長 三浦 晃  
ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)  
RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org>

第 1878 回例会記録《創立記念例会》  
2014 年 4 月 17 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1315

《会長要件》小原会長



本日は、3 月に御逝去された佐々木正雄会員夫人の佐々木共子さんをゲストにお迎えしています。佐々木様から、ワインと焼酎の差入れを頂戴しております。佐々木様、どうもありがとうございます。後で皆様ご賞味ください。

創立記念例会にあたり何を話そうかと悩みました。私がロータリーに入会したのは、1994 年(平成 6 年)1 月、畠館会長時代でしたから、ちょうど 20 年になります。長い間在籍していますが、私自身クラブ創立の経緯についてほとんど知らず、また最近入会された会員のためにも、クラブの記録誌に基づき創立の記録をかいつまんで読んでみます。

「1974 年 9 月 18 日、八戸 RC の総会で 20 周年記念事業の一つとして新クラブ八戸南 RC の設立を決定。10 月 4 日、小山内績ガバナーより、楢山弥太郎氏(八戸 RC)が特別代表に委嘱される。1975 年 1 月 26 日、八戸、八戸東、八戸北の 3 RC がスポンサークラブを受諾。2 月 15 日、第 1 回設立打合せが開かれる。この後、数度の打合せが開かれる。4 月 19 日、八戸パークホテルにおいて 31 名の創立会員が出席し創立総会が開かれ、定款・細則が採択される。この後、理事・役員・委員の選出に移り、渡辺英敏会長、種市良英副会長、村木哲夫幹事などの委員会名簿を採択した。4 月 24 日、第 1 回例会が開かれ会長方針が示される。6 月 17 日、RI 加盟が承認される。10 月 12 日、450 名が参加し、『チャーターナイト』をパークホテルにおいて盛大に挙げる。」

本日は、御出席の歴代会長の皆様にスピーチを御願ひしておりますので、よろしく御願ひいたします。

《幹事報告》清川幹事

例会変更のお知らせ、八戸東 RC 5 月 2 日(金)任意休会、5 月 9 日(金)場所変更、5 月 23 日(金)時間場所変更、八戸北 RC 5 月 20 日(火)時間場所変更



《出席》伊藤委員

本日は創立記念例会です。



《ニコニコボックス》平光委員長

小原会長 : 創立記念例会おめでとうございます。歴代会長の皆様スピーチよろしくお願ひします。佐々木共子様ようこそ。

清川幹事 : 創立記念例会です。よろしくお願ひします。

黒田会員 : 佐々木様、こんばんは。

鈴木会員 : 祝創立記念日

熊谷会員 : 創立記念日!!

伊藤会員 : 創立記念日

平光会員 : 創立記念日おめでとうございます。



《お礼の言葉》佐々木共子様



3 月 1 日に二週間の闘病の甲斐なく逝ってしまいました。皆様にお礼の言葉も、さよならも言わずに逝ってしまいましたので、私が代わりにお礼に参りました。いまだに信じられなくその辺から笑い声が聞こえてきそうな気がします。急遽私が会社を引き継ぐことになり、毎日戸惑いの日ですが何とか頑張るしかないと思い、50 年近く大事にしてもらった主人にお返しかないと思い頑張ります。本日はどうもありがとうございました。

《小原会長》

佐々木様、お忙しいところわざわざ例会にお出でいただきありがとうございました。会社の経営者という立場にたって大変だと思いますが頑張ってくださいと思います。そのうち余裕が出来たらロータリーの入会も考えて頂けたらと思います。

# 懇 親 会

## 《乾杯》チャーターメンバー第 20 代橋本会長

今年は 39 回目の創立例会で来年度はいよいよ 40 周年です。皆さん力を合わせて伝統ある南ロータリーを更に発展させていきましょう。



## 《第 16 代黒田会長》



私が会長になったいきさつは、金田先生が会長の時に、次年度会長の濱中さんと次年度幹事の近藤さんに説得されて会長エレクトをお引き受けしたのです。濱中さんの時のロータリーテーマが「エンジョイロータリー」でロータリーを楽しもうというテーマでしたので、濱中さんと近藤さんにはお昼

からビールを飲まされ説得されました。私が会長になった時のロータリーテーマは「ロータリーを高めよ」という大変厳しいもので、熱意を尽くせと言うものでした。そればかりでなくその時のガバナーが八戸クラブの浅水先生で、非常に厳しいガバナーでした。手続要覧とかクラブ会長選挙とか非常に細かく大変だったのですが、そのうえ浅水ガバナーから、インターアクトの地区の委員長をやれと言われ、「両方は無理です」とお断りしたのですが、クラブ運営は幹事に任せて、インターアクトの年次大会やアクトの翼をやれと言われました。それで幹事は誰にお願いしようかと思いましたが、先程ご挨拶いただいた佐々木共子さんのご主人の佐々木正雄さんが引き受けてくれました。佐々木正雄さんをお願いするときに、私は浅水ガバナーの命令でクラブ運営より地区のインターアクトの委員長として色々やらなければならないので、「佐々木さん何とか頼む」とお願いしたのですが佐々木さんは動いてくれず、正直に「私はスピーチがへただし声が小さいので、佐々木さんみたいに大きな声でスピーチが出来ない、佐々木さん何とか頼む」と言ったところ、それじゃあ仕方がないかと、やっと引き受けてくれました。各委員長さんも良く協力して下さい、素晴らしい奉仕活動が出来ました。大澤職業奉仕委員長は、八戸南高校での会員による生徒へのスピーチを設定、野澤社会奉仕委員長は、老人ホーム関係、林インターアクト委員長は秋田との年次大会やアクトの翼、この時の高校生の感想文がデーリー東北に 20 回に亘り掲載されました。岡山 SAA と北村出席委員長のおかげで出席率は 99.5% とほぼ 100% に近いものでした。鈴木会報委員長は初めてワープロでの週報作成、橋本青少年交換委員長は次年度の青少年交換の準備、音喜多会員増強委員長の下 6 名の新会員入会と、各委員長さんが個性を発揮して素晴らしいクラブ運営、地区への貢献をしてもらい浅水先生からも感謝されまし

た。この時の経験が現在の私のロータリー人生、RI の本部へ度々出かけ世界のロータリアンと話し合う土台になっていると思います。会長の任期中に次の年度のガバナー補佐に内定したのですが、この時には田名部勇さんに、「逃げたらだめだ、チャンスはそう来るものではないからやりなさい」と言われました。その後うちのクラブからガバナーを出さないかと来た時にも田名部さんに後押しをされました。素晴らしい会員の皆様に助けられて現在までつながっています。ありがとうございました。

## 《第 19 代畠館会長》



私が会に入ったきっかけは、最初の会長の渡辺先生の紹介です。私は渡辺先生に 2 度ほど手術してもらっています。先生から〇月〇日にホテルに来てくださいと言われていったところ設立準備の手伝いでした。その後会員になってくれと言われましたが、命の恩人の先生の誘いを断れずロータリーが何かも分からずに入会し、今日まで続いています。体は元気ですが、皆様に迷惑を掛ける前にロータリーを辞めなさいと女房にも言われています。いつまで続くか分かりませんが、もう少しおつきあい、お願いします。

## 《第 25 代鈴木会長》

私は 25 代という事で 25 周年の時に式典をやりました。日本では 10 年、20 年、30 年というのが節目なので 25 年は大丈夫だろうと、幹事の長谷さんともそんな話をしていましたが、アメリカではクォーターで 25 年というのは大切な年という事で、かなり盛大な 25 周年の式典でした。その年は南浦項の李東均さんがあちらのガバナーで式典の 10 日後に地区大会があり、かなりの人数で浦項に行ってきました。うちの式典にもたくさんの方に来ていただきましたが、その時来た方が 5 月人形の兜の飾りがほしいと言うので、花亀さんに行ったところ取り寄せになるとの事で、私が持っていくことになりました。その他にキヤノンのカメラがほしいという方がいて、これも持っていくことになりました。ソウルの空港で五月人形の兜が X 線に引っ掛かり呼び出されましたが、説明して納得してもらいました。あちらの地区大会はこちらとは違い体育館のようなところで行われ、各クラブが方々で盛り上がり、我々はびっくりして見ていたというような大会でした。25 年というある意味節目の年でしたが、皆様に助けていただき終えることが出来ました。20 世紀最後の年だったと思います。年度が終わる直前の 5 月頃に、次の会長に決まっていた方が突然退会されました。大分焦りましたがそ



の次の会長に内定していた音喜多さんが引き受けて下さり、その結果組織も固まって何とか乗り越えました。

### 《第 26 代音喜多会長》



今日は佐々木正雄さんのお話をさせていただきます。私は正雄さんとは 40 年以上のお付き合いです。八戸 RC の関野さんという方が「エイト会」というのをやっています、そこでのお付き合いが最初でした。それ以来 40 年以上毎月飲んでいた仲で本当にショックです。彼にはいろいろな場面で助けてもらいました。本当に良い男でした。

話は変わりますが、私が会長の時に次のガバナーに決まっていた方がやめてしまわれて、黒田先生から弘前の関場先生にガバナーをお願いするように言われて、理事会の時に電話でお願いしたところ、逆に黒田先生に受けて頂くようあなたからお願いしてくださいと言われ、黒田先生に受けてもらいました。その後黒田先生に RI 理事のお話が出た時も、少しはお役に立ったかなと思っています。

### 《第 28 代山田会長》

私は音喜多さんから会長を仰せつかりました。先ほど音喜多さんが会長当時の苦労話をされていましたが、音喜多さん、そんなにやったかなと思いつきながら聞いていました。それというのも最初の例会から会長の予行練習をさせられたからです。佐々木正雄さんには良い勉強になるからと言われましたが・・・私は選挙もなしに音喜多さんから会長を仰せつかり、同時に幹事は稲垣君を指名したから何も心配はしなくていいよと言われ受けたのです。正雄さんには色々マニュアルを作ってください予算を組んで安心していただくところ、幹事の稲垣君が青年会議所の理事長を受ける事になったのです。私も青年会議所には大変お世話になりましたので、理事長は良い勉強になるからそちらを頑張りなさいと言いましたが、結果、会長と幹事、両方をやらなければならずハプニングの連続でした。一生忘れてはならない思い出は、浦項で李東均さんのお祝いを兼ねて「八戸ナイト」というものを開催したのですが、これが大変な事になった事でした。黒田先生にも大変ご迷惑をおかけしました。とても盛大な会で歴代会長さんの中でもあれぐらいのイベントを出来る方はいないだろうと思っていますが、私も二度とはしたくありません。



### 《第 31 代石橋会長》

私がロータリーという組織の事を耳にしたのは、父が八戸クラブの方に入会を勧められていたのが最初です。その後社会に出て初めて入社した会社の社長がロータリアンでした。この時



に社会の為に尽くすにはロータリーに入ることも必要なのだと思いました。その後出向した会社の社長もロータリアンで改めて、世の中の為に尽くし、仕事をするにはロータリーが必要なのだと感じました。縁あって橋本精二さんの推薦でロータリーに入会することが出来、以来 30 年経ちました。せつかくロータリーに入ったのですから会費やら何やらお金はかかりますが、その他に寄付をして世の中の為になるような行動も必要だと思っています。黒田先生がガバナーになった時に、佐々木正雄さんと一緒に副幹事をやらせていただき、そのおかげで地区の PG 初め色々な方に顔を覚えていただきました。その後黒田先生には色々なところへ連れて行ってもらい、先日も 2650 地区、京都の地区大会へ先生が RI 会長代理として行った時に同行しました。黒田先生は RI 会長要件の中で八戸の震災のお礼を述べ、特別記念講演では京都の大学教授がロボットの話をしました。その中で震災の時にロボットを持って八戸に来たという話があり、三年経ってもまだ震災の話があるのだなと思いました。この他にも神戸、岡山、ソウルの地区大会にも出席することが出来ました。日韓親善会議にも 3 回出ていますが、青森の会議の時には韓国の方々と交流を深めることが出来ました。ロサンゼルスでの国際大会では黒田先生が RI 理事として、日本人朝食会を開催しましたのでこの時にも同行し、インドや韓国の元 RI 会長や昨年の RI 会長の田中作治さんに挨拶することが出来、大変勉強になりました。皆様もせつかくロータリーに入っているのですから、いろんな会合に出て見識を深めることにより、ロータリーから得るものがあると思います。当クラブからも次のガバナーが出るかもしれません、一人ではガバナーも理事も出来ませんので、クラブとして盛り上げる体制を作りましょう。

### 《第 32 代久保田会長》

私がロータリーに入りましたのは高野さんと三浦さんからの誘いでした。ロータリーに誘われている話を妻にしたところ反対されるかと思っていましたが「いいんじゃない」という返事でした。何故かというとな妻の父もロータリアンだったのです。妻にはロータリーに入ってまともになったと言われている。会長をやれと言われましたが私はマイペースなので、皆様にご迷惑をおかけしながらもご指導いただき、勉強させていただきました。今日は正雄さんの奥様もいらしていますが、私の正雄さんに対する印象をお話すると、大きな体で声も大きく豪快な方で、その反面すごく繊細で細かいところまで気を遣う方でした。ご自分が責任者になった時は人任せにせず、ご自分で必ずチェックなさっていました。私の質問に対しても親切に教えていただきました。あの笑い声が今にも聞こえてきそうです。佐々木さんはじめ、今いる方々にお会いできたのもロータリーへ入れて頂いたからです。高野さんはもういませんが、三浦さん本当にありがとうございました。



### 《第 33 代長嶺会長》



会長当時は理事役員の方を中心に会員の方々に支えられて一年間無事に過ごすことが出来ました。ありがとうございました。昔は会長をやりたい方がいっぱいいたのですが、この頃は会長を頼まれても引き受ける人がいなく、エレクトを選ぶときに皆さん苦労されているようです。会長を頼まれたら二つ返事で引き受けてもらいたい、ロータリーには「ノー」はないという話ですので快く引き受けてもらいたいと思います。会長をやって何が良いかと言いますと、皆様に支えられて物事が進んでいく中で周りの人たちへの感謝の気持ちがわいてきます。人に対する感謝の気持ちが会長をやってみると一番わかると思います。ロータリーをやっていく中で自分を高める為の一つのステップになりますので、会長を依頼されたら断る事なくやってもらいたいと思います。

### 《第 35 代三浦会長》

私は会長を引き受けた時に五つの目標を掲げました。一番目は親睦を通して会員の融和を図り、愉快で、愉しく、高潔さを備え、さらに前進したクラブにしたい、二番目では会員増強を皆様に強くお願いしました。過去には 67 名を有するクラブでしたが段々に減少して大分少なくなっていました。皆様のご協力で増やしていただきました。三番目は 35 周年の式典を成功させる、これは鈴木実行委員長の下、成功裏に終えることが出来ました。ありがとうございました。四番目は村井達ガバナーの所属する八戸ロータリークラブ主管の地区大会へ我々八戸南クラブが全員参加するという事でしたが、沢山の皆様に参加して頂きました。五番目は当クラブから黒田先生が RI 理事として日本からただ一人就任されましたので、その名誉ある黒田先生をあらゆる形で支え、支援していかなければならないという事でした。何とか支えられたのではないかと思います。以上 5 項目を皆様のご協力で無事達成できたことを感謝申し上げます。



### 《第 36 代野澤会長》



私は昭和 53 年にロータリーに入りましたが私が一番若く次が鈴木さん、その次がはっと庵の木村さんでした。とにかくロータリーには若いうちに勉強に行きなさいと言う事で入り、以来 36 年経ちました。正雄さんはいつも私の兄貴分で、私が 36 代の会長をやらせて頂いたときにも大変お世話になりました。私の結婚式の時に正雄さんのお父さんから祝辞を述べてもらいましたが、お父さんも正雄さんと同じでお酒が好きで櫛引神社で倒れてしまい、私が担いで救急車に乗せて入院させました。そういうご縁があり正雄さんがロータリーに入ってから、正雄さんが先

輩だったので兄貴分として飲むときはいつも一緒でした。36 代の会長を受けるときに一度はお断りしましたが、今はやめられた加藤さんがおいでになり、三浦晃さんもお出でになりました。晃さんには恩義がありましたのでお断りできませんでした。神先生が我々は国際人でなければならないという事で姉妹クラブの提携を模索していましたが、その時の国際奉仕委員長が黒田先生で、とても熱心でまじめな方ですので直ぐに韓国とやろうという事になったのです。それ以来続いていて色々大変なこともありましたが、今思えばよかったなと思っています。3 年前にトイレを作った時も姉妹提携をしていたから援助してもらえまして、韓国のご縁で台湾からも援助して頂きました。八戸南ロータリーが良い意味で名を残せたと思っています。私はいつもロータリーは人間ウオッチングだと思っています。お話を聞いているとこの人はこんな考えをしている、あの人はこんな考えと色々な人がいることが分かります。佐々木さんにはロータリーを昔に戻してくれと言われ一年間頑張りましたが時の流れには、どうしても逆らえないなと思いました。ロータリーはいつでも辞められますが、辞めるときは正雄さんのように、あの世へ行った時にしましょう。ご縁があつてのロータリーです。一緒にやっていたら良いことがあると思います。人間、嫌な事ばかりではありません、必ず良いことがあるはずですから、お互いに頑張っていきましょう。

### 《第 38 代熊谷会長》

私は 2001 年に入会させていただいて以来 13 年、12 年目に第 38 代会長を仰せつかり、未熟な会長で皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。私が入った時は佐々木正雄さんが会長をやっていた年度でした。私のスポンサーは山田さんですが、入った時にはみなさんそうそうたるメンバーで萎縮してしまい、例会にもなかなか足が向かなかったのですが、何回目かの例会の時に正雄さんが演壇から私に向かい「ロータリーはフランクだろう」と声を掛けて下さいました。その言葉が私の中にはずっと残ってしまっていて、そうだな、皆さんは鬼でもなければ蛇でもない、そうそうたる紳士ばかりなのだからもっとフランクに楽しんでいけばいいのだと思い、それからはロータリーを楽しもうという意識で毎回例会に参加するようになりました。お陰様でゴルフは一緒に楽しめるし、韓国にも一緒に行ける、非常に楽しい日々です。先ほど奥様の話をされた方もいらっしゃると思いますが、私も妻に「ロータリーに入って明るくなったね」と言われました。私はどちらかというと内向的な性格ですが、良い方向に変えて下さったことに感謝しながら、会員を務めさせていただいています。



### 《中締め 山子副会長》



